「知床自然の森づくり」協働モデル事業（継続）

【平成21年度予算額 13,022（14,002）千円】

事業のポイント

知床の森を豊かにする森づくり活動「知床自然の森づくり」に取り組みます。

この取組を多くの国民の参加を得て進めるため、「知床自然の森再生ビジョン」を作成し、ボランティア団体や企業等に参加を呼びかけます。

（「知床自然の森づくり」とは）

知床世界自然遺産を将来にわたって保全していくためには、その周辺部を含めて自然林を復元・保全していくことが重要です。遺産周辺部においては、現在、脊梁地帯に自然林が分布していますが、それ以外については、人工林と自然林が混在している状況にあります。このため、遺産周辺部において人工林の広葉樹林化をはじめとする多様な森づくりが求められています。

政策目標

「知床自然の森づくり」の実施や多様な森林体験活動メニューの提供を通じて、約2万人に森づくり活動への参加や森林体験活動の機会を提供

< 内容 >

多くのボランティア団体、企業等に「知床自然の森づくり」に関心を持ってもらうため、学識経験者、地元自治体、関係団体等多様な主体により「知床自然の森再生ビジョン」を作成するとともに、知床の森林の特性を活かした多様な森林体験活動メニューの開発を行います。

このビジョンに従った活動への参加を、知床への来訪者や教育機関、ボランティア団体、環境保全に関心の高い企業等多くの方々に呼びかけるとともに、多様な森林体験活動メニューを提供します。

< 委託先 >

民間団体

< 事業実施期間 >

平成19年度～21年度（3年間）

[担当課：林野庁 研究・保全課、業務課]